

令和7年度第1回 福知山市立図書館協議会 議事録（要旨）

開催日時：令和7年7月17日（木）午前10時00分～午前11時35分

開催場所：福知山市立図書館中央館 2階 研修室

出席委員：神谷委員、仲野委員、河北委員、善積委員、中井委員、塩見育委員、塩見建委員
高見委員、上垣委員、

欠席委員：小林委員、芦田委員、西村委員

事務局：足立館長、四方次長、塩見次長、中嶋係長

傍聴者：なし

議題：（1）令和6年度図書館事業報告について

（2）令和7年度図書館事業方針及び予算について

（3）第3次福知山市子どもの読書活動推進計画の実績報告及び計画の見直しについて

<あいさつ>

<前回議事録の承認>

協議事項

1 令和6年度図書館事業報告について

～資料1「令和6年度図書館事業報告」に基づき、事務局から概要説明～

内容：令和6年度の図書館の事業について

事務局

令和6年度図書館事業報告として、現在把握している内容を図書館事業報告として令和6年度事業をまとめております。今後、年報を作成していく過程で数値が変動するかもしれませんが、速報値ということでご了承いただきますようお願いいたします。

図書館中央館の運営としましては、開館日数が令和5年度が304日であったところが、令和6年度は302日であり、前年度と比較し2日減となっております。

来館者数については、令和5年度の237,710人に対し、約5,500人増の243,233人となっており、1日平均としては令和5年度の781日のところが、令和6年度は805人で24人の増となりました。平成26年6月の新館オープン以降の累計としては、2,253,411人、3,181日の開館日数となりました。

貸出冊数としては、令和5年度の414,360冊に対し、約25,000冊の減で388,816冊となっており、1日平均では、令和5年度は1,363冊、令和6年度は1,287冊

で76冊の減となり、貸出冊数としては前年度を下回っております。

また、新規登録者数は、1,943人、うち拡大利用者が268人となりました。

新中央館オープンから10年目の節目の年であり、福知山に公立図書館が開設されてから100年目の年でもあった令和6年度は、年間を通して多くの記念事業を実施し、図書館の情報発信をすることができました。

資料の貸出冊数は前年度を下回りましたが、来館者数は、前年度より増加している状況にあります。今後も、幅広い年代層に利用いただけるよう、さまざまな情報発信を行っていきたいと考えております。

資料等の整備については、資料購入冊数は、6,158点で、令和5年度の7,143点に対し若干減少をしております。内訳としては、一般書3,716点、児童書2,416点、視聴覚資料26点となっております。また、雑誌が103誌、新聞が15紙購入をし、新聞・官報・レファレンスのオンラインデータベースを運用し、レファレンス等に活用しております。資料収集整理事業費としては、16,190千円であり、佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金を活用し、資料の整備を計画的に行いました。

電子図書館の整備としては、令和5年度末のコンテンツ数23,696点に対して、令和6年度末のコンテンツ数が27,166点で、コンテンツ購入数が6,239点、うち再購入数が4,907点となりました。一定の貸出回数や期限を迎えたコンテンツを再購入したものが多くを占めています。また、資料収集整理事業の事業費としては、26,562千円となっております。

令和4年1月20日にスタートしました「ふくちやま電子図書館は、株式会社図書館流通センターの提供しているサービスを導入した全国385図書館のなかで、人口千人あたりの貸出数と閲覧数の両方で令和6年度も令和4年度、令和5年度に引き続き全国1位の実績をあげることができました。今後とも、電子と紙ベースの資料を併用したハイブリッド図書館としてサービスの提供に努めていきたいと考えております。

雑誌スポンサー制度の状況としては、雑誌種別としては令和5年度が211点であったものが、令和6年度は190点となっております。また、雑誌スポンサーについては、令和5年度が78冊であったものが、令和6年度は77冊となりました。

中央館で平成30年10月から開始した雑誌スポンサー制度は、令和2年7月から三和・夜久野・大江の3分館においても実施していますが、分館については1件のみであり、新たに取り組んでいます、個人スポンサーについても1件にとどまっている状況にあります。

以降、各種事業の実施状況については、昨年度の図書館協議会において御報告させていただいた内容をまとめたものであり、説明は省略させていただきますが、先ほどの教育長のあいさつにもありましたが、100周年記念事業で実施しましたメッセージの木に1,872枚の前向きなメッセージを頂くなど大変好評のうちに100周年記念の各種事業を実施することができてよかったと思っております。

委員

電子書籍についてですが、貸出期間の統計はありますか。というのは、以前、借りて少し読ん

ですぐに返却されるようなことがあるとうかがったのですが、貸出件数にそういうものがどれだけ含まれているのか分からないかと思ひまして。

事務局

10分か20分で返っている物がどれだけあるかどうかは把握できないです。

ただ、小中学校の児童・生徒に付与しているID・パスワードで読まれている件数については把握でき、全閲覧数・貸出数の9割以上が学校利用であることは把握しております。

委員

では、再購入をしているコンテンツは児童書が多いと考えていいですか。

事務局

はい。そうです。

委員

児童書の買いなおしが多いということは、逆にいえば、それだけ児童・生徒の利用が多く、興味を持って利用しているということなので良いことだと話を聞いていたのですが、雑誌スポンサー制度についてですが、令和2年の7月から三和・夜久野・大江分館においても実施しているということでしたが、実績が三和の1点のみということは、中央館ほど普及していないという理解でよいですか。

事務局

そうです。

委員

私の勤務している会社でも1冊雑誌スポンサーになっているのですが、中央館でスポンサーがついている雑誌でも、分館に置いており、スポンサーを募集していても集まってはいないということなのですね。

事務局

そのとおりです。雑誌種別にもありますが、中央館では190種取り扱っているものが、三和では13種、夜久野が19種、大江が10種と取り扱っている雑誌数も大きく違うこともありますが、分館においては普及していないのは事実です。

委員

制度の周知等はどうされていますか。

事務局

広報ふくちやまの図書館のページに始めた当初に掲載したり、ホームページで募集をしたりはしているのですが、今後も図書館を応援いただくよう呼びかけをさせていただきたいと思っております。

委 員

一番最初の入館者数ですが、私達もよく利用しておりますが、どのような年齢層がよく利用をされているのか関心があります。この総数というのは、入口のゲートで自動的にカウントされるのだと思いますが、印象として高齢者層がこのような暑い時期にはよく利用されているのではないかという印象です。さらには、若者いわゆる高校生、中学生が試験勉強等で利用されているのではと思っておりますが、職員から見てどのような印象を持っておられますか。

事務局

定期テストの時期には圧倒的に中高生が多いです。それ以外の時でも、高校受験、大学受験の勉強を熱心にされている学生さんがやはり多いです。それ以外でも年配の方が新聞や雑誌などを読んだりくつろいだりされている方も多くおられます。

委 員

中高生の方で、多い時には席がたらないこともあると思うのですが、そのような時の対応はどのようになっていますか。

事務局

2階の席が一杯になったら、1階の子どもコーナーの方に移行し、それでも無理な時は3階、4階のフリースペースの方に行かれています。それでも一杯になっているような時もあります。

委 員

1ページに広域利用者とありますが、どのような定義なのですか。

事務局

利用券には、利用者番号が「01」から始まるものと「05」から始まるものがあり、「01」が在住、在勤、在学の方であり、「05」から始まるものが、三丹地域の住民の方で、「05」番代の登録の方が、広域利用者となっております。

2 令和7年度図書館事業方針及び予算について

～資料2「令和7年度図書館事業方針及び予算について」に基づき、事務局から概要説明～
内容：令和7年度図書館事業方針及び予算概要

事務局

令和7年度の図書館事業方針及び予算についてご説明いたします。資料2をお願いします。

今年度の事業方針は、令和7年度社会教育の重点の中面、重点目標1の生涯学習の推進の③図書館活動の推進に掲げています「暮らしを豊かにし、知的文化の拠点となる図書館の推進」を昨年度に引き続き事業方針としています。

具体的な目標や方向性についても昨年と同じ内容で4項目挙げています。

全ての人に本との出会いや読書の楽しみを提供するために、幅広い分野の資料や図書を整備し、貸出や返却など安定したサービスを提供するという、図書館本来の機能である本を借りる場所、読む場所以外に、そこにいる事で落ち着くとか居心地の良い場所になるなど、居場所や憩いの場になったり、例えばおはなし会や移動図書館などの図書館事業を通して交流が図れる場、学びの場、本を読む、本に触れることが生活の一部になったり、本の世界を知る事で心が豊かになったり、拠り所になるような、図書館を目指して取組をすすめたいと考えています。

また、基準に基づき本を選ぶこと、郷土資料の収集登録を進めること、特集展示や市役所内の様々な部署とのコラボ展示など、今年度5月に開設しましたインスタグラムも活用し情報提供や情報発信を積極的に行い、来館型と非来館型を併用したハイブリッド図書館として引き続き充実を図っていきたいと考えています。

事業方針を基に、今年度の重点事業を3つ挙げていますので、順に説明します。

まず1つ目は、資料収集整理事業です。

資料収集要領に基づき、計画的に資料を購入し、幅広い分野から多数の図書を所蔵するとともに、「佐藤八重子記念読書活動振興基金」を有効に活用して児童書・絵本等図書の充実を図り、子どもたちがより読書に親しめる環境づくりを推進します。

2つ目は、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業です。

本市の子どもたちが読書を楽しみ、読書を通して「生きる力」を培い成長する環境を整え、本市の教育目標である「自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材を育成」に向け取組を進めます。

3つ目は、図書館運営事業です。

この事業は、中央館・分館の運営を行うための事業ですが、今年度はこの事業に「子どもの読書活動推進計画策定」にかかる経費を計上しています。

「第3次子どもの読書活動推進計画」は、今年度が計画の最終年度であるため、令和8年度からスタートする第4次計画を検討・作成を行ってまいります。

後ほど、資料3で詳しくご説明させていただきますが、子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで、欠くことのできないものであり、未来を担う子どもたちの健やかな成長のため、この計画の見直しを進め、令和8年度からスタートする第4次計画の策定に取り組んでまいります。

裏面をお願いします

今年度の図書館の予算をまとめています。

参考にその横には、令和6年度予算とその差引額、増減を記載しております。

資料収集整理事業につきましては4館の閲覧用図書、新聞、雑誌、視聴覚資料購入経費として予算額12,636千円

図書館運営事業につきましては、図書館の管理・運営経費と先ほど説明しました「第4次子どもの読書活動推進計画」策定経費を含め 予算額15,239千円、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業につきましては、ブックスタート、講演会やイベントなどの事業実施に要する経費として予算額935千円、図書館システム機器等更新事業につきましては、図書館システムのバージョンアップ及び自動化書庫の計画的な部品交換に要する経費として7,389千円、こちらは令和6年度は大規模な機器更新を行ったため予算額が大きく、比較して今年度は20,440千円の大きな減額となっていますが、令和7年度においても計画通りの更新作業等を実施できる予算を確保しています。

図書館電子書籍貸出サービス事業につきましては、予算額10,737千円で、令和6年度と比較し14,965千円減額となっています。この予算は、図書館情報システム使用料と、電子書籍のライセンス料となっていますが、令和3年度の電子図書館開設以来、まずはコンテンツを充実させるため多くのコンテンツを導入してきましたが、一定、各ジャンルとも充実してきたことから、回数制限や期間制限時期を迎えたコンテンツの更新を主に行いながら、今後も利用者のニーズに沿ってコンテンツの充実を図っていくこととしています。

今年度、図書館の事業は以上の5事業となります。

これらの事業を計画的に実施していき、図書館事業の振興に取り組んでいきます。以上で令和7年度の事業方針と予算についての説明を終わります。

委員

私は、学校現場で長く勤務しておりましたので、もう10年来、佐藤八重子さんの基金についてお話を聞いております。見通しを持って計画的に活用されているとは思いますが、今後、一体どれぐらいの期間この財源はもつのでしょうか。

事務局

詳細については、今、資料を持ち合わせていないのですが、このまま活用を続けていくと5、6年でなくなってしまうような残額であったと記憶しております。

委員

資料収集整理事業の中で、三和、夜久野、大江の3分館の雑誌購入冊数が、分館によって相違があるのは、なぜなのでしょう。

事務局

もともと購入冊数に差異があったことや置けるスペースによるものです。

委員

全体的に予算額が下がっているのは、予算削減の要求があるということでしょうか。

事務局

市全体として、予算が縮小傾向にあるなかで、その影響があることはありますが、一番大きかったのは、電子図書館のコンテンツ購入経費の減額であると思っていますが、これは、開始から3年間が経過し、一定コンテンツが充実してきたことにより、買い増しから維持へと移行したことによるものです。

2 第3次福知山市子どもの読書活動推進計画の事業報告及び計画の見直しについて

～資料3「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画実績報告書」に基づき、事務局から概要説明～

内容：第3次福知山市子どもの読書活動推進計画の実績報告及び第4次計画に向けて

事務局

第3次福知山市子どもの読書活動推進計画は、今年度が5年目となり、計画の最終年度となっております。そのため、今年度見直しを行い、第4次計画の策定に向けて進めていきます。現在、策定委員会を設置し、先月第1回目の策定委員会を開催しました。図書館協議会からは、上垣委員に策定委員の副委員長として加わっていただいております。

この計画の5年の間には、コロナ禍があったり、電子化が進んだり子どもたちの読書環境も大きく変わりましたので、そういったことも次期計画には盛り込んでいきたいと考えています。

また、市内の小中高校生の児童生徒と3歳以上の就学前の子どもを持つ保護者に向けての個別アンケートを実施することとし、子どもたちの読書活動の実態を把握して、第4次計画に反映させていきたいと思っています。また、策定状況については、図書館協議会において報告させていただきますのでよろしくお願いします。

資料3の実績報告ですが、こちらは計画期間である令和3年度から令和6年度の実績をまとめたものです。各担当部署から毎年度実績報告をいただいております。主だった箇所を説明させていただきます。

家庭で本と出会うということで、こども家庭支援課の実績報告に基づくもので、連携した事業として4か月検診時でのブックスタートあります。こちらもコロナ禍で1対1での読みきかせが行えない時期もありましたが、6年の9月からブックスタートボランティアの皆さんによる毎月2回の読みきかせとプレゼントを再開することができています。

次が保育園、幼稚園、こども園等で本と出会うということで、こちらは各施設において、毎日読みきかせをしたり、工夫して取り組みをしていただいております。図書館との連携としては、出張おはなし会や図書館見学、移動図書館や貸出セットを利用いただいております。

3番目の学校で本と出会うについては、各学校で朝読書や週末読書などに取り組んでおられ、令和6年度においては市内の小中学校で共通の図書館システムが導入され、バーコードによる本の貸出返却がおこなわれており利便性の向上が図られています。

4番目が市立図書館で本と出会うであり、図書館ボランティアの登録制度を令和5年度から開始し、ボランティアの皆さんのご協力により、図書館のおはなし会の開催や出張おはなし会への

対応がより多くできるようになりました。テーマ別のブックリストの作成などにも取り組んでいます。

5番目が、地域で本と出会うです。児童館や放課後児童クラブで取り組みを進めて頂いており、貸出セットの利用や出張おはなし会について、これまで利用されていなかった所の利用も増えてきている状況です。簡単ですが、概要については以上です。

委員

実績報告の概要をこうしてまとめられ、次の第4次計画につなげる材料にされるのだと思うのですが、その辺の実績報告書の活かし方について説明いただければ参考になると思います。

委員

前回の検討委員会で、こちらの資料を見させていただき、顔合わせの機会でしたので、詳しい討議というのはこれからであり、現在アンケート調査を実施して、整理されている最中であり、今後9月ぐらいに結果があがってきて、その結果を受けて第4次計画に反映していくこととなります。第3次計画と次の計画と大きく変わっているのは、先ほどの話にもありましたが、デジタル化であり、学校にタブレットが導入され、それで本を読むということが、第3次計画段階では想定されておらず、学校現場でも大きく風景が変わっております。私も学校に読みきかせに入らせてもらっているのですが、みんな座って一生懸命タブレットを見ているのです。それを見てタブレットに子どもたちの興味を引き付けるものがあるのは確かだなと感じました。

電子書籍の貸出しも福知山市が日本一になったと聞いておりますし、これは私見ですが、1位なら1位なりにそのところで、なにをするにしてもメリットとデメリットは出てくるものなので、そのところもしっかりと検証して計画に反映させるべきだと思っております。

委員

なかなか大変だと思うのですが、よろしくお願いします。が、アンケートの中にタブレット活用についての読書傾向を把握するような質問はありますか。

事務局

電子図書館を利用しているかの項目も入れて、どれぐらい使っているかの設問を設けています。

委員

私たちの世代にとっては、非常にビックリするようなことがどんどん進んでいくのだなと思っておりますが、そのようなことが第4次計画にどのような反映されていくのか関心を持って見させていただきます。

<閉会挨拶>